悲情城市（1989）

悲情城市
A CITY OF SADNESS

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 台湾
色彩 Color
時間 159分
初公開日 1990/04/28
公開情報 フランス映画社

【キャッチコピー】
こんなにも美しい愛があった　こんなにも激しい死があった　かなしみが心を撃つ非情城市　全世界で感動を呼ぶ　現代台湾史壮大な叙事詩！

【解説】
　世評は高い作品だが、侯孝賢のフィルモグラフィの中、ただ一つ居心地悪げに鎮座する“大作”であり、魅力的な巻頭（日本から解放の日に長男の息子が誕生）シーンや、Ｔ・レオンの聾唖の四男の生活、恋愛の描写のリリシズムに他の部分が追いついていない気がした。様々な解釈のある台湾現代史においても最も激動的な’４５年の日本敗戦から’４９年の国民党政府の樹立までの四年間を背景に、林家の長老・阿禄（季天祿）の四人の息子たちの生き様をパノラミックに描くが、屋台骨は意外に弱い。長男、文雄は台北の顔役的存在だが、その才覚に欠け、次男は戦争中の徴用で死んだ。三男は解放後、戦後派らしい生き方をしていたがやがて発狂してしまう。四男は郊外の町で写真館を営み、国民党の進攻に抵抗する友人らに心情的に味方をしている……。ヒロイックな人物が誰一人出てこないのはよいが、作品的にもう少し骨太の所があっても良かったと思う。その優しさが侯監督らしいとも言えなくもないが……。

【クレジット】

監督	ホウ・シャオシェン	Hou Hsiao-Hsing
脚本	ウー・ニェンツェン	Wu Nien Jen
	チュー・ティエンウェン	Chu Tien-wen
撮影	チェン・ホァイエン	
音楽	立川直樹	
	チャン・ホンイー	
出演	トニー・レオン	Tony Leung
	シン・シューフェン	Sin-Shu-Fen
	リー・ティエンルー	
	チェン・ソンヨン	Chen Sown-Young
	カオ・ジエ	Kao Jai

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.